

東大和市地球温暖化対策実行計画（案）に対する

パブリックコメントの結果について

東大和市地球温暖化対策実行計画(案)についてのパブリックコメントを実施したところ、次のとおりの結果となりました。

なお、長文にわたるものや意味の重複、固有名詞等は、趣旨を損なわない範囲で一部省略、追記、修正等を行っている場合があります。

1 提出した市民等の人数及び提出された意見の数

7人、39件

2 意見の提出期間

令和6年12月6日(金)から令和7年1月6日(月)まで

3 提出された意見及び市の考え方

提出されたご意見及び市の考え方は、以下の通りです。

提出者	番号	提出された意見	市の考え方
1	1	本計画案において、最も重要なことは、推進体制・進捗管理である。19ページの推進体制の図は、雑駁すぎて体制を整えるのに時間がかかってしまう。	本計画(案)を推進していく上で、その体制や進行管理は重要であると認識しております。このため、東大和市ゼロカーボン推進本部会議において、本計画を推進し、進行管理を行うこととしております。
	2	同じく図/本計画のPDCAサイクルも同様と言える。	上記の考え方と同様に、東大和市ゼロカーボン推進本部会議において、本計画を推進し、進行管理を行うこととしております。
	3	これらは、もっとブレイクダウンして、5W1Hを明確にしないと推進体制も整わない上に、進捗管理も後追いとなり、計画達成は夢に終わる。	地球温暖化対策は、東大和市だけの努力で解消されるものではありません。国や東京都、市民、事業者すべての方の努力が必要なものです。それらすべてを進行管理することは困難でありますことから、本計画(案)において掲げた3つの柱に基づく施策を実施してまいります。

	4	具体的には、推進体制の所管組織とマネジメントサイクルP D C Aの管理部署の明確化である。	東大和市ゼロカーボン推進本部会議において推進・進行管理を行い、当該事務局は、環境対策課に設置しております。ご意見の趣旨を踏まえ、担当部署を追記します。
	5	P D C Aは、小さく素早く回すことが必要であり、実施者がCを常に意識することが大事である。そのためには、Cとしての具体的な機能/ツールを明確化しなければならない。	国が公表している「自治体排出量カルテ」や、市が全庁的に集計する「エコアクションチェック表」を用いて、市域全体及び市役所の温室効果ガス排出量を把握してまいります。
	6	特に、区域施策編では、範囲が環境・経済・社会と広いのでできるだけ細かく各実施部署が取組みやすくなるようなスタート 2013 年度の基準値と目標値を明確化した管理シートの様なツールを用意する必要がある。	本計画(案)に掲げた3つの柱に基づく各施策における、各部署の取組を整理した管理シートの必要性につきましては、今後の施策を進める中で参考とさせていただきます。
	7	更に付け加えるなら、年度毎に進捗結果を各部門で競わせて表彰するイベントも工夫する必要がある。	各課の取組状況については、全職員に周知しております。表彰などのイベントについては、今後の参考とさせていただきます。
2	1	部屋の照明をLEDにいつかは変えなければと考えています。蛍光灯の寿命が来たらとかでなくて、今変えることによってどういうプラスがあるのか、その仕事をどの事業所に頼んだら、地域にお金が還元できるのか、市としても紹介する窓口があったらいいのではと思います。	環境対策課において、東京都の相談窓口と連携を図り、対応してまいります。
	2	市もLED化を、施設の改修時ではなくて、施策の優先順位を変える必要があるのではないかと。市民が生活の便利さを犠牲にして脱炭素ではなくても、今すぐできて効果のあるのが何か、市が先頭に立って実践して欲しい。	現在、公共施設の改修に合わせて順次、照明器具をLED化しております。限られた財源の中で計画的に公共施設の照明のLED化を進めてまいります。
	3	ちょこバスも、高齢化に伴って自家用車の利用も難しくなるので、脱炭素と公共交通の活用という点で、路線等も含め市民の意見を職員が聞きに欲しいと思います。	ちょこバスへのご意見については、機会を捉えて聴取してまいります。

3	1	6 ページ、再エネについてのコラムはわかりやすい。	貴重なご意見として受け賜ります。
	2	3 ページの将来像で「電気料金の市外流出…」という言葉が出ているので、現状と課題のところで、現状、どのくらいの量の電気やガスを市外から購入しているのか、量とおよその金額が示されているとイメージしやすくなると思う。	市内における再エネ発電量については、6 ページ「現状と課題の整理」において明らかにしております。
	3	8 ページ 施策1-1, 1-2, 1-3 省エネの具体的な取り組みについて、建物の脱炭素化をより具体的にあげてはいかがか。断熱材、2重サッシ、ひさし、緑化、建物周辺の緑や透水性の舗装など。	ご意見を踏まえ、計画(案)8 ページ記載「エコオフィス」の用語解説(40 ページ)において、建物の脱炭素化に関する具体例を追記します。
	4	施策2-1, 2-2, 2-3 再エネについて、市内施工業者の育成・紹介(どこに頼めばできるのか)。省エネ、再エネの導入はコストがかかる。その施工ができる業者を市内で賄えるようにすれば、地域内で経済も循環すると思う。	家庭の省エネ促進に寄与する市内事業者である「東京省エネマイスター店」や、各種団体との連携を図りながら、施策を進めてまいります。
	5	情報提供については、具体的にどう取り組んだらよいかわからない人が多いと思うので、例えば太陽光発電設備を実際に導入するところまで、具体的な話ができるような、相談窓口を設置してほしい。	環境対策課において、東京都の相談窓口と連携を図り、対応してまいります。

6	<p>11 ページ 施策3-4 緑の保全についてと、13 ページ 適応策2について、緑の保全だけでなく創出（増やすこと）も進めてほしい。狭山緑地だけではなく、街中の緑も日陰をつくる重要な役割がある。建物の緑化（壁面・屋上・駐車場や庭など周辺・グリーンカーテンなど）、公園（小さな児童公園で木が切られているが、日陰をつくる高木を増やしてほしい）、街路樹や川沿いの桜の回廊など。緑を増やすことで、土面も増えて、熱中症対策にもなる。特に通学路は日陰が必要ではないか。</p>	<p>緑の保全と活用については、関連計画である緑の基本計画とも整合を図り進めてまいりたいと考えております。</p> <p>※公園や街路樹については、機能や役割を考慮しながら、安全・持続可能な管理ができることを前提として、検討してまいります。</p>
7	<p>12 ページ 浸水被害対策として、土や木を増やし、小石で作った浸透施設などを作って、水をためたり浸透させたりする。（農地・公園・駐車場・緑地など）</p>	<p>今後の取組検討の際に参考とさせていただきます。</p>
8	<p>16 ページ「東大和市電力の調達に係る環境配慮方針」と、17 ページ「東大和市公共建築物環境配慮整備方針」と「東大和市グリーン購入推進方針」について、45 ページ以降の出版URL一覧に載せてほしい（公開してほしい）。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「東大和市電力の調達に係る環境配慮方針」、「東大和市公共建築物環境配慮整備方針」、「東大和市グリーン購入推進方針」を公開するとともに、資料編の出版URL一覧に記載します。</p>
9	<p>16～17 ページ 分野1, 2, 3について、具体的な取組内容を検証するための尺度となるような目標や数値を明確に掲げてほしい。</p>	<p>事務事業編においては、再生可能エネルギーの利用拡大や公共施設の照明のLED化などを重点取組として掲げております。限られた財源の中で、目標を達成できるよう、各部署と連携を図り取組を進めてまいります。</p>
10	<p>36 ページ アンケートやヒアリングの内容を計画に反映してほしい。</p>	<p>アンケートやヒアリングを踏まえ、施策1-3「公共施設における省エネの取組」、施策2-3「公共施設における再エネ設備等の導入推進」、施策2-4「再エネ電力の活用」に整理しております。</p>

	11	<p>その他、「ゼロカーボンシティ宣言」を市として表明して、計画推進に対するやる気を示してほしい。環境省によると、宣言を行っている自治体は、全国1788自治体のうち1127自治体にのぼる(2024・12・27現在)。都内では、23区26市中、宣言を行っていないのは当市を含めて1区3市のみ。取り残された自治体とならないようお願いしたい。</p>	<p>ゼロカーボンシティ宣言の有無によって目標に向けた取組が変わるものではないと考えておりますが、「宣言」をすることによって、短いセンテンスで、簡潔にわかりやすく市民の皆様にご覚悟いただき、ご理解いただけるものと考えておりますことから、今後、検討していくことが必要と考えております。</p>
4	1	<p>目標(50%)が高く、そこへの挑戦であると述べられている通り、余程、意識してかからないと達成は困難だと思う。その実施にあたっては、あらゆる手段と機会をとらえてする必要はある。他の隣接自治体等と協力し、時には競う位の覚悟も必要だと思う。</p>	<p>貴重なご意見として受け賜わります。</p>
	2	<p>7ページの、1省エネの取組、2の再エネの導入等は、8ページ以降に解説があるが、その具体的な手法や達成時期の工程表がない。</p>	<p>本計画(案)に記載されている施策の具体的な実施時期については、市の各部署及び東京都、事業者等と連携しながら検討してまいります。</p>
	3	<p>施策3-3で、自転車の利用促進があるが、これにはシェアサイクルよりも、駐輪場の整備促進を続けることの方が重要ではないか。</p>	<p>各駅周辺の自転車等駐車場については、現段階では全体として需要を充足していると認識しており、整備を促進していく予定はありません。</p>
	4	<p>多摩モノレールの活用について、隣駅まで110円だが、立川まで行く場合、上北台駅からだと320円、玉川上水からでも270円と高額になる。定期利用者はよいが、退職後の高齢者には使いにくい料金設定。公共交通機関の利用促進を言うなら、改善すべき。 せめて都が70歳以上に発行する「敬老パス」をモノレールにも適用してもらえないかと思う。バスよりモノレールの方が省エネになることは言うまでもない。他の自治体とも連携して都に要請していただきたい。</p>	<p>シルバーパスの多摩モノレールへの適用については、市長会等の機会を捉えて東京都に要望しております。</p>

	<p>5</p> <p>施策 3-4 について、市北部の狭山丘陵は当市の貴重な緑であり水源林でもあるため、保全は当然。問題は、その他の地域に緑を増やすこと。近年、緑地と言える雑木林等が、当市では宅地開発等でほぼ失われた。これに対して、積極的な緑化が必要。</p> <p>市内を走る道路の並木や、低木の緑地帯の保全を検討してほしい。並木はすでに多く整備されているが、既存のものでも枯れてしまったり、出入り口を予定していたために外してある所に改めて植樹を推進することは可能と考える。上中原公園の東を南北に走るけやき通りと言う並木があるが、あれが理想。なぜなら歩行者だけでなく、通過する道路交通にも木陰を与えてくれるから。夏場の車利用の場合、温室のような状態でエアコンをかけるため、余計にエネルギーが消費され、運転者には不快。市内全体にああした喬木の並木を整備し、また既存の並木の間隔を詰めて樹木数を増やすことも重要。その他、灌木の緑地帯も増やすことで、市内にグリッド上の緑地ができることになる。</p> <p>落ち葉対策も必要になるが、シルバー人材センターの活用などもご検討してほしい。熱中症予防のため、ひと涼みステーションを設置とのことだが、ステーションに行くまでの道のりを考えれば、並木の充実はぜひ検討していただきたい。他の自治体のモデルとなるようなものを作ったらと思う。</p> <p>緑化イコール CO2 低減であり、夏場の気温の上昇を抑えることができる。</p>	<p>街路樹の保全については、道路附属物として安全で持続可能な管理ができることを前提として、検討してまいります。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

	6	事務事業編では、概ね理解できる。市の施設は、再エネ・省エネを実現できる最初に着手すべき場所であり、公共施設を利用した計画推進の加速化を図るよう要請する。	貴重なご意見として受け賜わります。
	7	とにかく目標達成のため、速さと実現できる所からの着手が重要。進捗管理では、いつできるか、いつまでにできるかが重要と考える。	貴重なご意見として受け賜わります。
5	1	とにかく市内の樹木を増やすこと！役所は各世帯（各事業所にも）に成長の早い樹木の苗を配布して、庭やベランダで生育してもらおう。少しでもカーボンオフセットになることを考えるべし。	市内の緑化推進については、担当部署と連携しながら検討してまいります。
	2	これ以上、市内の官民含めての再開発は止めるべき。また、樹木の伐採は行わないこと。例えば、上仲原公園の樹木を伐採したのは愚行である。どんどん森、雑木林を増やすべき。	公園等の樹木については、その公園の機能や役割等を考慮しながら、適切な緑化推進や維持管理に努めてまいります。
	3	市内にコンビニエンスストアは不要。撤退させるべき。大量のガスを排出する諸悪の根源。	市内のコンビニエンスストアは、国が定める「特定排出者」（年間エネルギー使用量が原油換算で1,500kl以上）に該当していないものと認識しております。
	4	市民はもっと公共交通を利用すべき。それを促進するよう、市役所は努めるべき。	公共交通の利用の促進については、交通事業者と連携し、今後も機会を捉えて取り組んでまいります。
	5	東大和は多少田舎ではあるが、せっかく緑の多い街なのだから、もっと緑、樹木を増やして「グリーンシティ」にしてゆくべき。	緑の保全と活用については、関連計画である緑の基本計画とも整合を図り進めてまいりたいと考えております。
6	1	目標が低い。基準を1990年度にすべき。	温室効果ガス排出量の削減に関する基準年度については、国の地球温暖化対策計画に合わせて2013年度としております。

	2	市、市民、事業者にも専門家も加えて、経済的な観点も含めて総合的にまちづくりできる仕組みを考えてほしい。そのためには、市行政も環境だけでなく、事業、経済、企画など横断的な組織体制にしていきたいと思います。そうすれば、経済的にもまちづくりにも未来にも効果があると思う。	本計画(案)を推進していく上で、その体制や進行管理は重要であると認識しております。このため、東大和市ゼロカーボン推進本部会議において、本計画を推進し、進行管理を行うこととしております。
	3	持続可能な未来を。	貴重なご意見として受け賜わります。
7	1	東大和市の CO2 排出割合は家庭が31% ここから導かれるのは、市民、住民が実行計画(案)の内容を理解するために、パブリックコメントの期間や議会での議決等に関わらず、不断に周知することが必要ということ。画餅に帰さないようこの計画を実施する固い決意をもってあたっていただきたい。	本計画(案)に基づき、温室効果ガスの削減等について、適切な周知・啓発を行ってまいります。
	2	人々の「意識」が高いか低いか、ではない。気候危機は、自己責任によって引き起こされているものではない。意識の高低に関わりなく、温暖化(地球沸騰)の影響は将来世代ほど酷く被る。子どもや若者、まだ生まれてない住民も含む住民の福祉に寄与するための施策が求められる。そのために、市の役割は重要であり、担当部局に限定されない横断的な責任体制を構築すべき。	東大和市ゼロカーボン推進本部会議において、本計画(案)を推進し、進行管理を行うこととしております。各施策については、環境対策課が中心となり、市の各部署と連携を図り、取り組んでまいります。

	<p>3</p> <p>家庭への周知を啓発の段階から、具体的な行動を促すものとするよう記述を更新していただきたい。8ページがポイントと考える。(施策1と2) 「市は情報提供を行う」とあるが、都のホームページを紹介することにとどまってはならない。省エネ機器の購入や、再エネ—太陽光発電や太陽熱利用機器の購入、導入には、初期費用がいくらかかり、何年で元が取れるか、結果としてどれだけ電気代その他のエネルギー費用が安くなるか、温暖化防止に寄与するかなどを個別事例に応じて具体的にアドバイスする専門性と個別性が必要。相談窓口を設置することを明示すべきと考える。市民は意識が低いのではない、省エネや再エネにかかる費用、対効果などの情報が「提供」されていないから、必要性を意識しても行動に転化しないだけだと考える。及び「エネルギーの貧困」の問題が東大和市では大きい（高齢世帯が多いなど）と考えられる。これらの課題を解決するために、全庁が有機的な連携を持って住民の福祉に資するための体制を構築していただきたい。エネルギー費用が日本全体では 35 兆円も外国に流出している現状がある。当市でも実行計画（案）3 ページにあるように、電気料金の地域内還流はまさしく住民の福祉に資するものである。温暖化対策は、決して精神論ではなく、住民の福祉そのものである。</p>	<p>市では適切な情報収集を行い、家庭での行動変容が促されるような施策を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>省エネや再エネの導入等に関する補助事業については、家庭向け、事業所向け共に東京都が実施する施策が充実しておりますことから、国の施策も含め、市民の皆さまそれぞれの状況に即してご案内できるよう検討してまいります。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------